

留 学 報 告 書

記入日:2017年2月7日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学フラトン校 現地言語: California State University Fullerton
留学期間	2016年8月～2016年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年1月7日
明治大学卒業予定年	2018年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期: 8月中旬～2月中旬 2 学期: 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	?
創立年	1957年

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	5622	約 630000 円	
宿舍費	7101	約 800000 円	シングルタイプ、112 Block Meal Plan 付き
食費	約 344	約 37000 円	Meal Plan の追加購入代金
図書費	約 150	約 17000 円	教科書代
学用品費	0	0 円	
教養娯楽費	0	0 円	
被服費	約 700	約 80000 円	
医療費	0	0 円	
保険費	約 1238	約 140000 円	形態: 明治大学と現地の学校指定の保険
渡航旅費	約 2212	約 250000 円	成田七AX
雑費	約 7018	約 777400 円	生活用品、旅行費等
その他	100	11000 円	入学許可
その他	約 155	約 17600 円	留学前の予防接種、診断書
その他	約 360	約 40000 円	ビザ申請料金
合計	約 25000	約 2800000 円	1ドル=113円

渡航関連

渡航経路: 成田～LAX	
渡航費用	
チケットの種類	エコノミー
往路	約 15 万円
復路	約 10 万円
合計	約 25 万円
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
行きはシンガポール航空、帰りは ANA。両方とも Expedia で調べました。	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学内の寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

大学のホームページ(詳細については国際教育事務室を通してフロンからメールが送られてきます。)

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

費用は他と比べ高いですが、快適でした。シャワーが少し冷たかったです。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか?大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

寮に関することは、Housing Office。授業の取り直し・追加申請などはCP(College Park)のオフィスに行きました。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

在ロサンゼルス大使館に在留届けを出していたため、時々注意喚起メールが送られてきました。犯罪に巻き込まれたことはなかったです。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮・学校・図書館にはWiFiがありました。携帯はソフトバンクであり、アメリカ放題を利用していました。現地では携帯を購入しませんでした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

キャッシュパスポートとVISAを使用していました。銀行口座は開設しませんでした。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

常備薬、ホッカイロ、スーツ(ボスキャリなどに参加する場合)

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

大学のポータルサイトからクレジット決済で支払いました。

卒業後の進路について

1)進路

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※1~3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

ホテル・旅行業界を中心にしていますが、まだ業界という枠に囚われず幅広く見ている段階です。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※1~3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学前と後では、就活の軸が大きく変わりました。留学前には学内の業界セミナーに参加し、情報収集は始めていました。留学中、時間に余裕がある時はSPIの問題集を解いていました。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 12 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to American Cultural studies	アメリカ文化入門
科目設置学部・研究科	American Studies
履修期間	秋
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Christina Barbier
授業内容	前半はアメリカの歴史。後半はアメリカの文化。
試験・課題など	リーディングに対するコメントシートを毎回提出、エッセイ 4 つ、中間テスト、期末テスト
感想を自由記入	個人的に一番ハードな授業でしたが、学ぶことは大変多かったです。エッセイは何度も書き直しをさせられました。テスト前は、友達と一緒に勉強したり、オフィスアワーで分からない所は質問しに行きました。私たちが知らない真のアメリカの姿を知ることができたと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Queer studies	ジェンダー学
科目設置学部・研究科	Women and Gender Studies
履修期間	秋
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Davis Pacheco
授業内容	LGBTQ の権利について
試験・課題など	リーディングクイズ 2 回、エッセイ 3 つ。テストはなし。
感想を自由記入	今まで学んだことのない領域であったので、専門用語を調べたり、覚えたりすることに時間がかかりました。授業はリーディングの課題を読んできたことを前提に進みました。クラス全体でのディスカッションとそれに対する先生のフィードバックがあり、大変自由な雰囲気のクラスでした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Human Services for Immigrants and Refugees	アメリカの移民・難民政策
科目設置学部・研究科	Human Services
履修期間	秋
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回
担当教授	M.Leonor Cadena
授業内容	アメリカの移民・難民について
試験・課題など	10 ページエッセイ、プレゼンテーション、中間テスト 2 回、期末テスト

感想を自由記入	唯一の 300 番代の授業についていくのに毎回必死でした。先生は大変理解のある方で、授業で映画を見る際は英語字幕を付けてくださったりと毎回気にかけてくださいました。アメリカの移民・難民政策について詳しく知りたい方にはオススメの授業です。
---------	--

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to the Humanities	ヒューマニティー入門
科目設置学部・研究科	Liberal Studies
履修期間	秋
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式+オンライン講座(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 1 回
担当教授	Edward Maine
授業内容	人間の起源(宗教 VS ダーウィンの進化論)、幸福とは何か
試験・課題など	授業内にミニクイズ、エッセイ 3 つ、中間テスト 2 回、期末テスト(オプション)
感想を自由記入	講義とオンライン講座のハイブリッドクラスでした。オンライン講座で基礎知識やリーディングの要旨について確認し、講義では実際に知識が定着しているかディスカッションやミニクイズといった実践の場でした。



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2015年 1月～3月	情報収集、語学学習
4月～7月	情報収集、語学学習
8月～9月	フィリピンでの短期留学、TOEFL 受験、情報収集
10月～12月	出願、選考
2016年 1月～3月	留学の出願書類作成などの手続き
4月～7月	ビザ申請、寮の申し込み、奨学金申請などの手続き
8月～9月	出国、オリエンテーション、秋学期授業開始
10月～12月	授業、中間テスト、期末テスト
2017年 1月～3月	帰国、就活準備開始
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	理由は主に3つあります。1つ目は、語学力の向上。日本にいと英語を使う機会に限られているので、海外に出て話す機会を増やしたいと思ったからです。2つ目は、長期で海外での生活を経験したかったからです。違った環境に身を置くことで、内面的な成長ができるのではないかと思います。3つ目は、ゼミで学んでいる多文化共生についての理解を深めたいと思ったからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学学習です。リーディング、リスニング、スピーキング、ライティング、どれもまんべんなくコツコツ勉強しておくべきです。特にレポートを書くことが多いと思うので、レポートの書き方や引用の仕方などは復習しておく必要があると思います。また留学先で取りたいと思う授業の事前知識を身につけておくことが大切だと思います。私は日本史選択で、アメリカ史についての知識があまりなかったため、アメリカンカルチャーの授業では苦戦しました。したがって、留学先で学びたいことに関連した授業を取るまたは本を読んでおくなどの対策しておくべきだと思います。
この留学先を選んだ理由	理由は主に2つあります。1つ目は、フラトン校には自分が学びたい授業が開講されていたからです。私はLGBTや移民・難民といったマイノリティについて学びたいと考えていました。2つ目は、移民が多く、多様性に富んでいるカリフォルニア州で勉強することで、多文化社会の形成について理解を深めたいと思ったからです。
大学・学生の雰囲気	学生は多種多様で、メキシコ系、アジア系の方が多い印象を受けました。様々な人種が暮らすカリフォルニアでは、多様性を重んじている風潮があり、アジア人だからという理由で差別されるようなことは特にありませんでした。キャンパスの規模は比較的小さい方で、学校内の移動時間はそこまでかかりませんでした。
寮の雰囲気	寮が一番ホッとできる場所でした。自分の部屋と共有スペース(キッチン、お風呂、ソファ)がありました。共有スペースでは、ルームメイトと一緒に話したり、勉強したりしていました。月1ペースで寮のミーティングがありました。
交友関係	私はルームメイト(ドイツ人2人と日本人1人)ととても仲が良かったので、一緒にイベントに参加したり、旅行したりしました。また、3つクラブ活動に参加していたので、そこで現地の学生や他の国から来た留学生と友達になることができました。
困ったこと、大変だったこと	留学前の諸手続きと留学中の課題は特に大変でした。ビザの申請、予防接種、寮の申請等の手続きは早め早めに行うことが重要だと思います。私は、寮の申請をギリギリに提出したため、最初は却下されました。その後は、留学先オフィスと何度もやりとりし、最終的には寮に入ることができました。寮は先着順であるので、早く申請書を提出するべきです。また課題では、10ページのエッセイを書くことが特に大変でした。留学前にMLAやAPAといったエッセイの書き方を復習しておくべきだと思います。
学習内容・勉強について	私は、幅広い授業(移民・難民政策、ジェンダー学、アメリカ文化、ヒューマニティー)を取っていました。どの授業も、予習をしてきたことを前提に進み、エッセイやコメントシートといった課題が毎回出ました。
課題・試験について	予習・宿題・復習は必ずするように心掛けていました。iPhoneのボイスメモを使って授業を録音し、復習の際に何度も聞き直していました。日本の大学と比べて、授業数は少ないですが、毎回の課題の量は圧倒的に多かったです。最初のうちは専門用語を調べたり、覚えたりすることに時間がかかりました。試験は、数週間前にオンラインでアップされる「Study Guide」に添って、勉強をしていました。わからない部分は、友達に聞いたり、先生のオフィスパワーを活用したりしました。
大学外の活動について	課外活動は、JCC(Japanese Culture Club)、WESP(We Speak English Project)、ISA(International Student Association)の3つに参加していました。こうした課外活動のおかげで、友達の輪が広がりました。また日本語の授業にTA(Teaching Assistant)として参加していました。主に会話の練習に加わって、発音や文法を教えていました。日本に興味を持っている学生が沢山いて、クラスはアットホームな感じであり、毎回行くのが楽しかったです。
留学を志す人へ	私からのアドバイスとしては、根気強く何事にも余裕を持って取り組んでください。寮の申請手続きでは何度も心が折れそうになりましたが、国際教育事務室や留学先オフィスと何度も連絡を取り、最終的には寮に入ることができました。留学先オフィスからメールの返信が来なかったり、遅かったりするので、根気強く何度もメッセージを送ると良いと思います。後は、留学前に語学学習をもっとしておくべきだったと後悔しているので、手を抜かずにコツコツと勉強をしておいてください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	起床	起床	起床	起床			
	授業	TA、授業	授業	TA、授業	起床	起床	起床
午後	自習	授業	授業	授業	自由時間	自由時間	自習
	自習	自習	課外活動	自習	自由時間	自由時間	自習
夕刻	授業	自習	課外活動	自習	自由時間	自由時間	自習
夜	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝